

# 福生市議会だより

## FUSSA

No.124

発行 福生市議会

平成11年4月25日

〒197-8501 福生市本町5番地

☎ 042(551)1511(代表)

平成11年  
第1回定例会

平成11年度  
各会計予算を可決

一般会計予算 約二百一十一億八千万円 (対前年〇・七%減)  
特別会計予算 約百五億七千万円 (対前年〇・四%減)

### 本会議の経過

平成十一年第一回定例会が、三月三日から二十日までの二十四日間の会期で行われました。今回の定例会では、市長の施政方針演説に続き、九人の議員の一般質問が行われた後、「平成十一年度一般会計予算」等の議案や陳情等の審議が行われました。

第一日目(三日)は、市長の施政方針演説に続き、五人の議員の一般質問が行われました。

第二日目(四日)は、前日に引き続き四人の議員の一般質問が行われました。

第三日目(五日)は、二十一日議案と陳情一件の審議が行われ、その中で「福生市と青梅市との間における伝染病患者の収容および診療に関する

事務の委託の廃止について」を初め、四議案については可決され、十七議案と陳情一件は各委員会に付託されました。この中で、「平成十一年度一般会計予算」は予算審査特別委員会を設置して付託されました。

第四日目(二十六日)は、各委員会に審査を付託されていた議案と陳情等の審査報告が行われ、議案はいずれも可決され、陳情等が二件採択されました。この中で、「平成十一年度福生市一般会計予

### 意見書を可決

#### 関係各機関に提出

今定例会の最終日(三月二十六日) 議員提出議案として次の二つの意見書が提出・可決され、市議会議長名で関係各機関に提出されました。

**環境ホルモン削減に向けた包括的表示(全成分表示) 制度を求める意見書(要旨)**

今まで想像もしていなかった環境汚染物質が大きな社会問題となっている。この環境ホルモンは、生物の生殖機能に影響を及ぼすことが指摘されているばかりではなく、次代にもその影響を引き継ぐ可能性があり、その対策は急を要するものである。

しかし、この環境ホルモンから身を守るうえにも、その一つである猛毒のダイオキシン発生原因の一つとされている塩化ビニール類の成分表示や、また環境ホルモン物質の

議案の意見書二件と当日追加提出された議案三件を審議し、それぞれ可決され、今定例会を終了しました。

### 主な内容

可決された案件・討論	2面
11年度予算	3面
一般質問	4~7面
委員会の審査・活動	8面
請願・陳情	8面

### 定例会の日程

2月	23日 議会運営委員会
3月	3日 会期の決定 市長の施政方針演説 一般質問 議会運営委員会
4日	一般質問 議会運営委員会
5日	議案審議
9日	平成11年度一般会計 予算審査特別委員会
10日	平成11年度一般会計 予算審査特別委員会
11日	平成11年度一般会計 予算審査特別委員会
15日	厚生委員会
16日	建設委員会
17日	総務委員会
19日	道路交通問題対策特 別委員会
24日	議会運営委員会 横田基地対策特別委員会
26日	議案の審議等 委員会審査報告 議会運営委員会

このような社会保険行政に於いて、国の直接執行事務とすることは、地方分権推進に逆行し、国の行政機構の肥大化や権限の集中につながり、地方自治体との連携を断ち切ることにつながる。また、社会保険事務所のみですべての事務を行うことは、住民から行政窓口が遠くなることも、二重行政となり、住民サービスの低下をもたらす。将来の年金制度に対する国民の不信を招き、制度崩壊につながる

政府が進めている地方分権関連法案の中で、社会保険行政に係る事務は、地方分権推進委員会の第三次勧告を踏まえて、国の直接執行事務とする方向が示されている。

**地方分権の推進、社会保険行政の「法定受託事務化」に関する意見書(要旨)**

社会保険行政は地方自治法施行以来、都道府県・市町村への機関委任事務として運営され、地域に密着した行政とし

### 議員表彰

東京都市議会議長会では、議員として永年地方自治に功績のあった方々を表彰しています。平成10年度においては、次の方々が表彰されました。

(議席順)

議員七年以上

山下 進

吉沢 嘉翁

大野 悦子

議員十五年以上

林田 武



▲「ふっさまつり」で行われた「おはやし」(4月4日 明神下公園にて)

# 可決された案件 (要旨)

- ◆ 福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例  
地方税法の一部改正に伴い改正するもの。
- ◆ 福生市都市公園条例の一部を改正する条例  
牛二公園の新設によるもの。
- ◆ 福生市の条例を左横書きに改める条例  
左横書きにするために条例を制定するもの。
- ◆ 福生市と青梅市との間における伝染病患者の収容及び診療に関する事務の委託の廃止について  
委託を廃止するもの。
- ◆ 東京都町村公平委員会を共同設置する市町村及び一部事務組合の数の減少及び東京都町村公平委員会共同設置規約の変更について  
西多摩農業共済事務組合及び北多摩農業共済事務組合が十一年三月三十一日で解散するため、規約を変更するもの。
- ◆ 東京都町村退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び東京都町村職員退職手当組合規約の変更について  
西多摩農業共済事務組合及び北多摩農業共済事務組合が十一年三月三十一日で解散するため、規約を変更するもの。
- ◆ 東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合規約の一部改正について  
多摩地域における最終処分場の延命化と焼却残さ等の資源化を図るもの。
- ◆ 平成10年度福生市一般会計補正予算(第五号)  
一億五千五百五十万円の減額。事務事業の精査等による精算が主なもの。
- ◆ 平成10年度福生市国民健康保険特別会計補正予算(第三号)  
一億七千五百二十七万九千円の減額。歳入では保険料の増収と医療費等の減額によるもの。
- ◆ 平成10年度福生市老人保健医療特別会計補正予算(第二号)  
二億円の減額。医療給付費の伸びが鈍化する見通しに伴うもの。
- ◆ 平成10年度福生市下水道事業会計補正予算(第三号)  
八千五百三十三万三千円の減額。下水道使用料の減額、事業執行、確定に伴うもの。債務負担行為の補正と地方債の補正をするもの。
- ◆ 市道路線の認定について  
一、二七二号線、一、二七三号線、一、二七四号線、一、二七五号線の三路線を認定するもの。
- ◆ 各会計当初予算(三面をご覧ください)
- ◆ 平成11年度福生市一般会計予算
- ◆ 平成11年度福生市国民健康保険特別会計予算
- ◆ 平成11年度福生市老人保健医療特別会計予算
- ◆ 平成11年度福生市下水道事業会計予算
- ◆ 平成11年度福生市受託水道事業会計予算

## 議員提出議案

- ◆ 福生市議会会議規則  
市議会の標準会議規則に準拠するための全部改正。
- ◆ 福生市議会委員会条例  
常任委員の定数の変更と市議会の標準会議規則に準拠するための改正。
- ◆ 福生市議会の規則を左横書きに改める規則  
規則を左横書きにするための制定。
- ◆ 環境ホルモン削減に向けた包括的表示(全成分表示)制度を求める意見書
- ◆ 地方分権の推進、社会保険行政の「法定受託事務化」に関する意見書  
(意見書については一面をご覧ください)

# 討論

今定例会の二十六日、「平成11年度福生市一般会計予算」及び「平成11年度福生市老人保健医療特別会計予算」の二議案に対し、賛成、反対の討論が行われ、いずれも可決されました。

ここでは、その中から「平成11年度福生市一般会計予算」の討論の要旨を掲載しました。

規、レベラアップの事業が数多く計上されている。限られた財源の中で市民要望にこたえる予算となっており、賛成する。

また介護保険事業の準備、市営住宅の建設など市民要望にこたえた予算となっており、各分野にわたり市民福祉向上の事業が計上されており、賛成する。

福生駅自由通路エレベーターの設置などバリアフリーで市民に優しいまちづくりが図られ、また緑豊かなまちづくりとして下の川緑地保全の本格的取り組みがなされます。情報化社会に対応し、中学校にパソコンの導入、教育相談の充実などが行われ、ソフト面の努力が期待される。多様な市民ニーズにこたえた予算であり、コスト意識を持って市民サービス向上の努力を望み、賛成する。

長期の景気低迷で、国・都よりの補助金は削減され、歳入の中心である市税は恒久的減税実施等により減収になるなど、市財政が大変厳しい中、中学校のコンピューター教室の充実、小中学校の建物耐震補強事業、福生病院の移管準備、防災マップ作成、学童クラブの延長保育実施、市道改良事業等各分野にわたり新

景気低迷で市政を取り巻く環境の大変厳しい中、少子・高齢化、情報化、国際化等に対応した行政課題が山積している。特に高齢化社会の急速

市民負担軽減につながる私立幼稚園保護者負担、修学旅行等の補助金は増額せず、中学校給食実施の取り組みもされていない。住民の期待と大きくかけ離れた本予算であり、反対する。

戦後最悪の不況の中で、市民の予算への期待は大きなものがあるが、行革と称し駅前自転車駐車場や学童保育の有料化で市民負担の強化を図り、また国保税、都市計画税等の引き上げは内部努力で回避したとはいえずに先送りしたに過ぎない。

戦後最悪の不況の中で、市民の予算への期待は大きなものがあるが、行革と称し駅前自転車駐車場や学童保育の有料化で市民負担の強化を図り、また国保税、都市計画税等の引き上げは内部努力で回避したとはいえずに先送りしたに過ぎない。

戦後最悪の不況の中で、市民の予算への期待は大きなものがあるが、行革と称し駅前自転車駐車場や学童保育の有料化で市民負担の強化を図り、また国保税、都市計画税等の引き上げは内部努力で回避したとはいえずに先送りしたに過ぎない。

## 第一回臨時会

平成11年第1回福生市議会臨時会は1月28日・29日の2日間にわたり開催され8件の議案に対し、審議が行われました。28日(第1日目)の議案審議の中では、「福生市長等の期末手当の特例に関する条例」を初めとする3件が可決され、5件の議案については、3常任委員会に付託されました。29日(第2日目)には審査報告がされ、原案どおり可決されました。可決された議案と要旨は次のとおりです。

- ▲ 福生市組織条例の一部を改正する条例  
介護保険事業実施に伴い組織を改正するもの。
- ▲ 福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例  
都人事委員会勧告に基づき、一般職職員の給与を改定するもの。
- ▲ 福生市長等の期末手当の特例に関する条例  
市長、助役、収入役に支給する平成11年3月期期末手当に限り、100分の45とする。
- ▲ 福生市教育委員会教育長の期末手当の特例に関する条例  
教育長に支給する平成11年3月期期末手当に限り、100分の45とする。
- ▲ 福生市の一般職の職員の平成11年3月期期末手当の支給割合を定める条例  
支給割合を、100分の55とする。
- ▲ 平成10年度福生市一般会計補正予算(第4号)  
4億3059万6千円を追加し、総額を221億1051万4千円とする。
- ▲ 平成10年度福生市下水道事業会計補正予算(第2号)  
職員人件費を335万4千円増額し、予備費を同額、減額する。
- ▲ 平成10年度福生市受託水道事業会計補正予算(第1号)  
345万6千円を追加し、総額を9億2044万5千円とする。

# 「議会日誌」

13日 東京都収益事業組合議会臨時会	22日 西多摩農業共済事務組合議会
14日 議会運営委員会(市議会)だより編集会議	23日 エコセメント化実証プラント視察
19日 全国市議会議長会基地協議会役員会	23日 議会運営委員会
25日 東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会	25日 西多摩衛生組合議会
26日 議会運営委員会	26日 東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合議会
28日 平成11年第1回臨時会(第1日目)	3日 平成11年第1回定例会(1日目)
29日 平成11年第1回臨時会(第2日目)	4日 平成11年第1回定例会(2日目)
4日 全国市議会議長会基地協議会総会(5日まで)	5日 議会運営委員会
5日 東京都市議会議員研修会	9日 平成11年度一般会計予算審査特別委員会
9日 茨城県岩井市議会視察来市	11日 厚生委員会
12日 青梅、羽村、福生地区都市下水路組合議会	16日 建設委員会
15日 瑞穂斎場組合議会	17日 総務委員会
16日 富山県滑川市議会視察来市	19日 道路交通問題対策特別委員会
29日 米空母艦載機飛行訓練中止要請行動	24日 議会運営委員会
	26日 平成11年第1回定例会(4日目)
	29日 議会運営委員会(市議会)だより編集会議



▲平成11年度一般会計予算は予算審査特別委員会において賛成多数で可決

# 平成11年度 予算の概要

今定例会に、平成十一年度一般会計予算と特別会計予算の合わせて三百十七億四千六百二十四万七千円が提出され、一般会計予算特別委員会、建設委員会、厚生委員会、総務委員会において慎重に審査された結果、原案のとおり、可決されました。

平成十一年度一般会計の予算総額は二百一億七千八百六十一万円で、前年度と比較し〇・七％の減となっている。その主な理由は、平成十年度では、福生駅西口駅前通りの都市計画道路整備事業、さくら会館改良事業、牛二公園（仮称）新設事業、福生地域体育館駐車場新設事業等があったが、これらの完成あるいは事業量の減少による減額である。

歳入は、長引く景気の低迷等の影響により、市税収入の伸びや、国、都の補助金等の伸びが余り期待できず、起債の活用、基金の取り崩しにより、対応することとなっている。歳出の主なものは、都市基盤整備として、市道田園七一

**国や都への要望に対する反映は**  
問 国や東京都に対する要望が予算上でどのように反映されているのか。  
答 国に対する要望は、基地関係要望を含め、負担金・補助金・委託金、国庫支出金の総額は二十六億四千四百九十六万三千円で、〇・二％増。

**基地騒音対策の予算化は**  
問 予算全体の中で基地の騒音対策がどのような形で予算化されているのか。  
答 学校の防音機能復旧工事、防音施設関連維持費が二億六千九百三十九万七千円で、補助額は九千九百二十六万八千円、そのほか騒音測定経費が三百三十七万六千円である。

**家庭用生ごみ処理機の台数は**  
問 家庭用生ごみ処理機は実施計画書では平成十三年まで百台ずつの予算が計上されているが、台数的にどの辺までをめているのか。  
答 青梅市の実績も考慮したが、実際は収集体制の移行の様子を見ないとわからない。

**学校補助教材費等の父母負担額は**  
問 小学校の補助教材費の

**一般会計予算の審査から**  
平成十一年度の一般会計予算は三月九日から十一日にわたり特別委員会を設けて審査されました。ここでは、その中から、一部の質疑・応答（要旨）を掲載しました。

**有料自転車駐車場の回数券引き等を**  
問 自転車駐車場を有料化にして半年たつが、学生割引き制度を取り入れて一千百十万円支出しているが、このほかに回数券の割引や定期割引きなどは考えていないか。  
答 年間を通じての運営状況がつかめないといういろいろなことが言えないが、利用率などから見て利用の促進ということも財団としては考えなければならぬところで、回数券の導入については運営上の採算の問題も含めて検討していきたい。

**ホームヘルパーの登録人員数は**  
問 介護保険施行を目前に、当市のホームヘルパーの登録人員は現在何人か。また在宅介護支援センターが三カ所になるとイメージ的にどういうふうになるのか。  
答 痴呆性のデイホームには、現在どのくらいの登録人員がいるか。  
答 登録ホームヘルパーは障害者、高齢者を兼ねて二月一日現在で五十五人。委託事業者は二十七人、市の常勤ホームヘルパーが四人、トータルでは八十六人である。介護支援センターは介護に関する総合相談等の本来業務をするとともに、福生地域を三分割して介護支援センターのエリアをつくり六十五歳以上の実態把握等を個々のセンターで行っていただく。また社会福祉協議会に委託する部分は基幹型、特養委託の部分は標準型という位置づけで、基幹型はそれぞれの地域の標準型の仕事をし、なおかつ三カ所を統括するようなネットワークをイメージしている。  
加美で実施している痴呆性のデイホーム利用状況は二月一日現在で、利用登録者は十三人で、延べ利用者数は千五百一十一人。一日当たり五人である。

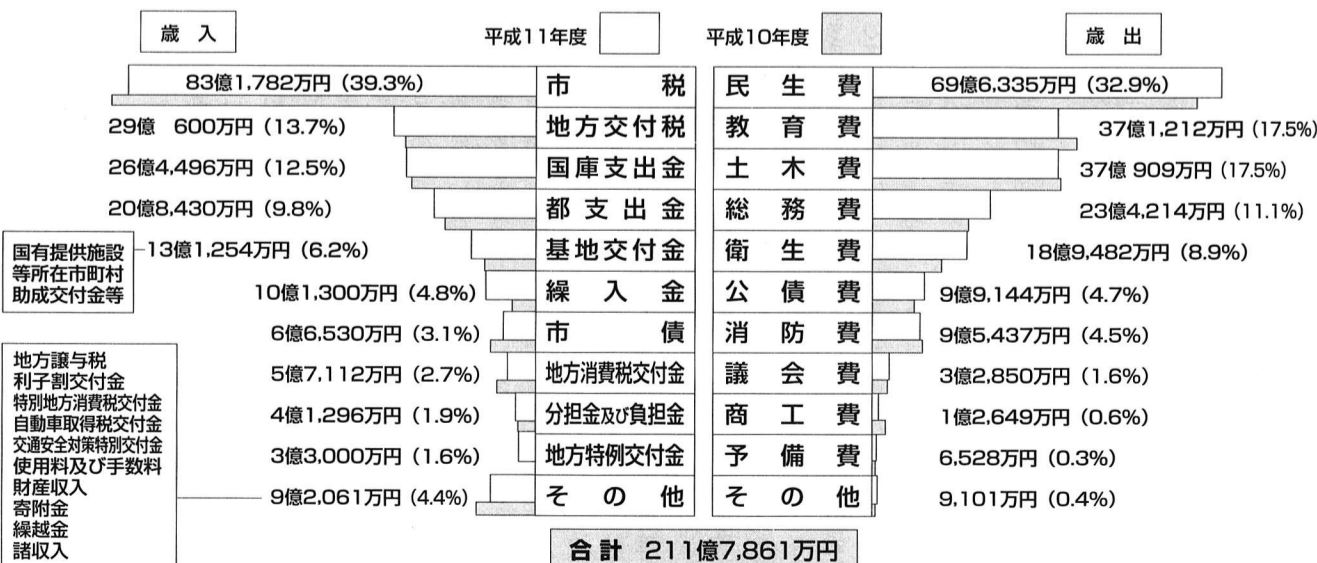
**収納率向上の方策は**  
問 収納率は努力目標を含めた数字と前年と変わった状況であり前回と変わった方法や施策を取り入れているか。  
答 収納率向上のために強化月間を引き続き行い、休日の納税窓口の反応が出ていますので、年三回にこだわらず回数を増やしていきたい。強化月間にこだわらず平素の対応を強化し、納税者の財産調査、実態調査を進めながら納付指導を行い収納率向上に努めてまいりたい。

い。体制の見直しの説明会をしてきた中で急激に増えているので、さらに今後も説明会を実施していくと、この程度は必要かと思う。

平成11年度各会計予算規模 (人口 11.1.1現在 62,258人)

会計区分	11年度	前年度比 %	市民1人あたりの額
一般会計	211億 7,861万4千円	-0.7	34万 175円
特別会計			
国民健康保険特別会計	35億 105万7千円	4.6	5万 6,235円
老人保健医療特別会計	31億 7,504万2千円	-2.0	5万 998円
下水道事業会計	30億 756万4千円	-3.2	4万 8,308円
受託水道事業会計	8億 8,397万円	-3.6	1万 4,198円
総合計	317億 4,624万7千円	-0.6	50万 9,914円

平成11年度一般会計予算の内訳 ( )内の数字は合計に占める割合



三千二百円は十年度と同額で据え置きで、中学校補助教材費は十一年度では五百円上がつて六千七百円になっているが、父母負担の補助教材購入費は小、中学校では幾らになるか。修学旅行補助金は小中学校据え置き、移動教室補助金は五百円のレベルアップをしているが、その考え方は、  
答 補助教材費は、教育委員

員会としては保護者負担の五十％を従来から目標として充てていく考えである。小学校の保護者負担は不況の折も増額がなく三千二百円以下なので、平成十一年度も据え置いた。中学校の保護者負担は七千八百一十円で、五十％以下なので、今後とも五十％を目標に努力していきたい。修学旅行の補助金は小学校は七千円で据え置き、中学校は一万五千三百円で据え置きであり、交通費、宿泊費の三十％を目標に補助をしていく考え方でやっている。中学二年の移動教室への助成は平成十年度四千九百円だったが、平成十一年度は五千四百円に約十二・二％のアップで計上している。

# 一般質問

## (要旨)

### 市民のここが聞きたい

今定例会では、九人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にたどしました。

四〇七面にその主な項目を掲載しましたが、紙面の関係から、すべての項目が掲載できません。

詳しくは、会議録を図書館でご覧ください。  
なお、この一般質問の内容は、質問議員に確認をしています。

### 地域防災計画の見直しについて

小嶋英男 議員

質問 火山国の日本は阪神・淡路大震災を初めここ十数年の間で伊豆大島、十勝岳、雲仙普賢岳の噴火など大小の地震が絶え間なく発生している。自然災害発生はとめることができないが、発生を想定して被害を少しでも少なくする努力はしなければならぬ。阪神・淡路大震災以降、各市町村等は直下型地震に対する地域防災計画の見直しを行っていると聞いている。当市は二十七日の中でも防災対策はかなり進んでいるとは思いますが、当市の防災計画見直しの基本的考え方とその進捗状況、また現行防災計画との違いについて伺いたい。

市長 典型的な都市直下型地震であった阪神・淡路大震災後、国を初め震災時の防災対策の見直しが必要とされた。その基本的考えは都市



▲市では地震被害を最小限にするため地域防災計画の見直しを進めている

直下型地震の教訓を踏まえ、社会経済情勢の変化や消防庁等関係機関の資料に基づく諸状況の変化を考慮し、さらに平成九年発表の都の被害想定に関する調査報告書等を参考にしていることである。  
現行計画との違いは地震災害と風水害とに分けた構成であり、それぞれ災害予防計画と応急対策計画を作成し活動体制、情報収集、伝達、避難体制等について具体的な計画と方法を検討した計画案とした。

### 圏央道一部開通 当市への影響は

質問 ①圏央道の青梅から八王子ジャンクションの開通に伴い、今まで市内を通過していた大型自動車が圏央道を通り中央高速道路へ向かうと思われ、現在の十六号線のような交通渋滞は解消されるのか。開通後の当市への影響など予測したことがあるか。また交通量調査等行ったことがあるか。  
②都市計画道路3・4・2号線(多摩橋通り)は市の中心街を青梅線と東西に抜ける唯一の重要な道路である

市長 ①圏央道は青梅から八王子間の約二十二・五キロが平成十三年三月を目標に工事が進められており、今まで幹線道路の渋滞を避ける車が生活道路を抜け道として利用していたが、圏央道や幹線道路を通ることにより、生活道路はより生活に密着した本来の道路へよみがえるものと考えている。既に近隣の八王子、川越市などの生活道路は埼玉県内の圏央道一部開通により交通量が減少しているとのことで、当市も開通に合わせて土地利用計画など市独自のまちづくりができるよう努力していきたい。  
②多摩橋から新奥多摩街道線までは整備済みであるが、原ヶ谷戸方向へ向かつては未整備状態で都市計画法の網をかぶった状態が長く続き、沿道関係者に大変迷惑をかけているところである。昭和六十二年には現況測量等をし、概略設計などを繰り返し、青梅線との立体交差部分についてJ・Rと協議を進めてきている。最近の動きは二月九日に都の建設局から当路線の説明があり、J・Rとの協議と並行し、交通安全面から警視庁との協議も進んでいるとのことである。市としても今年に入り直接都へ向うき実情を訴えてきた結果、都は重要路線として認識しており都施行で早急に整備するよう努力したいとのことである。今後さらに都市基盤整備の面から早期実現へ向け都に要望していきたい。

### 情報を開示し

### 福生病院の公立移管を

遠藤洋一 議員

質問 平成七年に福生病院の存続陳情が住民から出され採択後、どのような負担があり、市民にどのような負担があるかなど具体的情報が市民に示されることなく来ている。行政としても市民の総意を得

ながら移管していくためには情報公開の開示が必要と思うが、どうか。  
市長 福生病院の移管を受け、また病院運営に当たっては福生、羽村、瑞穂が足並みをそろえなければ成り立たず、三市町の行政、議会、住民の合意形成は大変重要だと思っている。したがって情報の開示、利用者の意見を反映させることについては移管準備の準備の進みぐあいを見極める中で、三市町の連絡を十分に取ることから実施していきたい。



▲福生病院の三市町への移管は市民への負担額など情報公開が求められている

### 基地米兵の傷害事件 などについて

質問 ①昨年十月、横田基地所属のC-9輸送機が訓練飛行中にエンジンカバーを落とす事故があり、市に通告があった。その後の新聞報道では火災事故も起きていたことが伝えられ、大きな事故につながる可能性があるが、基地からの報告は新聞報道後であった。どうしてそういう食い違いが起きたのか。  
②昨年十二月末、米兵二人による日本人への傷害事件が発生したが、基地がある限り起り得るこうした事件を市長はどのように把握し、対処したか、またその後どうなっ

ているか。  
③艦載機の夜間と昼間の訓練は硫黄島でという要請にもかかわらず横田基地でしばしば行われている。この演習について市長の見解は。  
④一九八五年に思いやり予算で設置された横田基地のごみ焼却炉は、現在どのような形で稼働しているのか、周辺のダイオキシン測定等はどうか。また産業廃棄物等基地内のごみはどのように処理されているのか。  
市長 ①基地周辺の市街地に落下した場合の大変さを危惧し、早速十月三十日、連絡協議会で口頭にて防衛施設局、基地に四点にわたる要請を行った。十二月に調査団によりエンジン調査が行われ、

### 一般質問項目

(質問順)

小嶋英男 議員

吉沢嘉翁 議員

- 防災対策について
- 地域防災計画の見直しについて
- 都市基盤整備について
- ①圏央道青梅〜八王子ジャンクションの開通後の当市への影響について
- ②都市計画道路3・4・2号線(多摩橋通り)の進捗状況について
- 社会教育について
- 成人式のあり方について

遠藤洋一 議員

今林昌茂 議員

- 横田基地について
- ①C-9ナイチンゲール機の事故のその後について
- ②米兵2名による日本人への傷害事件について
- ③空母キティホーク艦載機のGCA、NLPについて
- 公園対策について
- ④横田基地内のゴミ処理について
- 福生病院の公立移管について
- 交通安全対策について
- 新庁舎の建設について
- 新庁舎に関する市民懇談会など、市民(利用者)の参加について

山下進 議員

原敏子 議員

- 道路行政について
- 交通安全対策について
- 福祉行政について
- 福祉行政について
- 市民参加のまちづくりについて
- 市民要望等について
- 福祉行政について
- ①「介護保険事業計画」の策定と「老人保健福祉計画」について
- ②高齢者用住宅の増設について

調査結果を公表すること  
であったが、いまだにされて  
いない。今後も引き続き米軍  
並びに国に対し、機会あるこ  
とに要請をしたい。

②昨年十二月二十八日、東  
京防衛施設局を通じ外務省か  
ら文書で次のような情報が入  
った。「市内で米軍人が日本  
人との間でけんかをし、顔面  
にスプレーをかけられ逆上し  
た米軍人が車でひき、日本人  
は両足等の骨折で入院中。当  
該軍人は同僚と逃げようとし  
たが警察に逮捕され、日本側  
拘禁に置かれており、米側よ  
り遺憾の表明があった。」

早速、市長、議長連名によ  
り文書で横田基地司令官等に  
網紀の肅正、犯罪の根絶を骨  
子とした要請を行った。二人  
の米軍人は傷害罪で起訴され  
今月中に公判が行われるが、  
二度とこのような事件が発生  
しないよう、また被害者が十  
分な補償を受けられるよう国  
及び米軍に対し要請したい。

③再三の中止要請にもかかわらず成人の日を含め五日間

### 銀座通り改良工事の 見通しは

山下 進 議員

質問 銀座通りは三つの区  
間に分かれているが、その一  
区間である福生駅寄りの銀座  
商栄会の舗装改良が間もなく  
終わろうとしており、完成部  
分は見違えるようになった。  
商店街に比較し道路が立派す  
ぎる、不景気の折お金をかけ  
過ぎるなどの意見もあるが、  
また、一方では広くきれいに  
なったという意見もあり総じ  
て好評を得ている。道路がき  
れいになったので銀座商栄会  
のこれからの商店街活動に対



▲改良整備待たれる銀座通り

の地下埋設、装飾街路灯の改  
修、アーチの設置等について、  
銀座通りの整備指針ともいえ  
る要請書をいただき、その後、  
三商栄会との懇談会を開催す  
る中で、地元商栄会の負担を  
伴う装飾街路灯等の改修時期  
について、各商栄会の意向を  
伺ってきた結果、当面は銀座  
.....

### 「コンピューター 2000年問題」対策は

西暦四けたを下二けた

質問 西暦四けたを下二けた  
たであらわしたことによる  
「西暦2000年問題」が新  
聞、テレビ等で大きく取り上  
げられている。米国では本年  
末から来年にかけての外国旅  
行に国民に注意を呼びかけを  
している。日本ではことしの  
元日、五隻の船の機械がおか  
しくなったり、また人工衛星  
を使ったGPS（汎地球測位  
システム）又は世界的位置決定  
システム）が、ことしの八月  
二十二日からうまく動かない  
恐れがあるとか、ロシアの核  
の警戒システムの誤作動など  
の恐れが指摘されている。当  
市における「2000年問題」  
の対応はどのようになされて  
いるのか伺いたい。

市長 コンピューター内部  
に持っている日付の西暦年を

商栄会の区間を第一期  
工事として整備するこ  
ととなった経過があ  
る。今後、市として  
平成十一年度の早い時  
期に銀座中央商栄会並  
びに東銀座通り商栄会  
との協議を再開し、現  
道の官民境の調査実施  
等を含め計画的に整備  
の実現を図っていき  
たい。また、電線類の地  
中化については、現在  
国において住宅地や中小商店  
街などの狭い道路でも設置が  
可能な工法を開発し、電線共  
同溝方式を小型化する方向で  
整備指針を策定している状況  
もあり、これらも勘案しなが  
ら、今後とも銀座通り三商栄  
会を初め関係機関と協議をし  
ていきたい。

質問 ①平成四年に羽村堰  
からの放水が実現し、年間を  
通じて多摩川の清流が復活で  
き、各種の魚が川によみがえ  
ったが、三、四年前から上野  
不忍池などから飛来する川鵜  
の不妊を受け、その被害によ  
って魚類の減少が大変目立っ  
てきた。このまま放置すれば  
魚類の絶滅、生態系の変化も  
危惧されるが、食害状況をど  
のように把握しているのか。

### 川鵜などから 多摩川の魚類保護を

吉沢嘉翁 議員

②川鵜の被害は多摩川水系  
のみならず全国に広がってい  
るが、抜本的に食いとめるた  
めに多摩川水系沿川の市町村  
と漁協や遊漁者団体が一致し  
て都や国へ川鵜対策の働きか  
けを広域的に計画的に働きか  
けてほしいがどうか。

③水害防止のため川に堆積  
した砂利のしゅんせつは魚類  
の保護にとっても欠かせない



▲多摩川では都内からも飛来する川鵜で、魚に大きな被害が出ている

質問 ①平成十一年度で第二期  
総合計画期間満了となるが、  
その評価と、平成十二年度よ  
り実施される第三期総合計画  
策定の進捗状況と基本構想審  
議会からの答申時期、庁内の

③れんげ園での給食サー  
ビスの実施について  
④市民のくらしを守る施策  
について  
①駅前自転車駐車場の無  
料化実施について  
②消費税還元セールの実  
施について  
③教育行政について  
①不登校児童、生徒の対  
策について  
②中学校給食の実施につ  
いて

沼崎満子 議員  
○福生市入学金融資制度  
について  
①利用状況と融資限度額  
のアップについて

市長 ①昨年の六月市議会  
で福生市基本構想審議会条例  
を議決いただき、職業、性別、  
年齢などのバランスを考慮し  
ながら審議会委員を選出する  
とともに、市内には将来の福  
生市やまちづくりについて真  
剣に考え、またさまざまな意  
見をお持ちの方もいるので、  
市民代表十三人のうち他市の  
例を参考に三人を公募で選ら  
んだ。審議は今まで九回を数  
え、基本理念、将来都市像、  
計画の指標、市づくりの目標、  
施策大綱、構想の推進につい  
てさまざまな視点から検討い  
ただいており、早ければ四月  
中には答申がいただけるので  
はないかと思っている。

第二期総合計画  
策定の進捗状況は

質問 ①市では現在第三期  
総合計画策定の準備を進め、  
平成九年十二月の基礎調査に  
基づいて基本構想審議会に諮  
問しているが、高まる市民要  
望や社会環境の変化に対応  
し、さらに二年後に迫った二  
十一世紀を展望し、市制施行  
三十年を迎える当市の将来像  
をいかに第三期総合計画の基  
本構想に反映させていくのか  
伺いたい。  
②平成十一年度で第二期総  
合計画は期間満了となるが、  
その評価と、平成十二年度よ  
り実施される第三期総合計画  
策定の進捗状況と基本構想審  
議会からの答申時期、庁内の

取り組みとしては各担当課に  
対し第三期総合計画に対応す  
べき政策課題等の調査である  
とか、第二期後期基本計画の  
評価等実施している。また職  
員に対し総合計画策定の基礎  
的研修や政策課題研修を延べ  
五回実施している。  
また、福生市総合計画策定  
委員会等の開催をしている。

### どう取り組むか

#### 「国際高齢者年」

今林昌茂 議員

**質問** 日本の高齢化は世界  
にも例を見ない速さで進み、  
二〇一五年には国民四人に一  
人は六十五歳以上という高齢  
社会の到来が予想されている。  
高齢化は日本だけに限らず全  
世界的に進んでいるのが現状  
である。当市としても生き生  
きとした社会を目指すべきと  
思うが、国際高齢者年につい  
てどのようなPRや取り組み  
をしていくのか伺いたい。

**市長** 国際高齢者年につい  
ては、世界的に人口の高齢化  
が進んでいる中で国際連合に  
おいて千九百九十九年を国際  
高齢者年とする決議がされ  
た。そのテーマは、すべての  
世代のための社会を目指して、  
高齢者の自立、参加、ケア、  
自己実現、尊厳の実現を目指  
し、各国の政策と実際の計  
画・活動において具体化する  
よう広報等によるPRととも



▲毎年盛大に行われる老人運動会

に敬老大会、福祉  
まつりなど、イベ  
ントを活用したPR  
に取り組みたい。  
「高齢者  
年」を契機に高齢  
者の自立と社会参  
加を一層深め、子  
供からお年寄りま  
ですべての世代が  
理解し合い、助け  
合える、よりよい  
社会を目指して高  
齢者施策の促進に  
努めていきたい。

### 既存施設の利用で 健康づくり公園を

質問 市には多数の公園が  
設置され、地域のコミュニケ  
ーションを図る場として利用  
されているが、近年の少子・  
高齢化社会の中で公園の利用  
が減る傾向にあると言われ  
ている。

**市長** 市内には都市公園、  
児童遊園等六十九カ所の公園  
があるが、既存の公園は子供  
たちが利用できる運動遊具を  
中心に設置しており、高齢者  
が運動できる遊具を備えた公  
園は南公園一カ所だけであ  
る。最近では、便利さの反面運  
動不足などの健康阻害も多い  
現代生活において健康を守  
り、増進させることは大変重  
要であり、そのためにも老朽  
化した既存の公園を計画的に  
改良する中で、公園の面積や  
他の遊具等のバランスも考慮  
しながら、このような公園の  
設置ができるかどうかを調査  
したい。また運動遊具の使い  
方や指導等のソフト面もある  
ので、関係機関や地域の方の  
意見を聞き、市内でも十分  
調整し、今後の公園整備の中  
で前向きに検討していきたい。

千葉県のある市では既存施  
設の有効利用を図るとも  
に、身近な公園で子供からお  
年寄りまで気軽に楽しみな  
がら運動ができ、また利用者の  
体力に適した運動ができるよ  
う遊具や指導員等の配置など  
で工夫された運動遊園が設置  
された。スポーツが苦手な子  
供たちや、高齢者の方も気軽  
に楽しみながら運動ができ、  
健康づくりや足腰の弱った方  
の機能回復等にも大変効果が  
あるとの内容が、昨年十二月  
NHKのテレビ番組で放映さ  
れ、話題となった。当市でも  
少子・高齢化が進む中、公園  
のあり方にも変化が生じてい

### 中新道踏切の拡幅工事 その後の状況は

田村正秋 議員

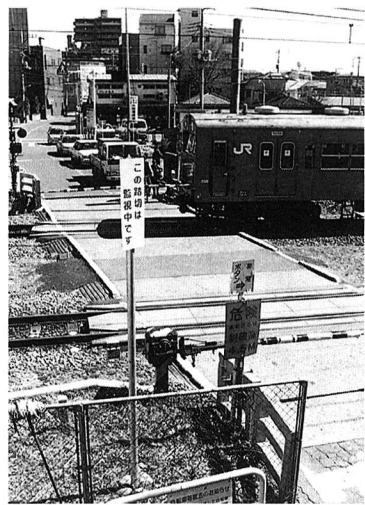
**質問** 都道一六五号線にお  
ける踏切の両側の歩道設置工  
事が平成六年度に完了し、踏  
切内の拡幅工事が始まるもの  
と思っていたが、いまだ進展  
していない。この場所は福生  
駅南側に位置し、朝夕のラッ  
ッシュ時には歩行者が線路へあ  
ふれ、大変危険な場所である。  
都道一六五号線に面して設け  
てあるセメントの歩行止めを  
撤去すれば簡単に実現できる  
のではないかとと思うが、何か  
物理的な問題、あるいはJR

の政策的な問題があるのか。  
以前の一般質問の答弁では  
平成十一年度の実施とのこと  
だったが、第一小学校PTA  
からも同様の要望が出てお  
り、平成十一年度完成に向け  
てどのように進行しているの  
か伺いたい。

**市長** 福生駅南側の中新道  
踏切は、平成六年度に東京都  
施行により踏切の両側の道路  
の拡幅が行われ、歩道の設置  
が完了したが、肝心の踏切部  
分の拡幅はなかなか進展せ

ず、以前から何人かの議員さ  
んからも御質問をいただき、  
御心配をいただいている。西多  
摩建設事務所との行政連絡会  
において強く要望し、さらに  
直接要望書を出すなどして早  
期拡幅に向け再三お願いをし  
ているところである。

その結果、平成九年十二月  
に東京都から、平成十年度内  
にJRと具体的な施工へ向け  
ての協定を結び、平成十一  
年度には予算措置を図り、拡幅  
整備を  
行っ  
てい  
きた  
いとの  
説明が  
あった  
が、先  
日の二  
月十日  
の都建



▲拡幅待たれる中新道踏切り

### 多摩川上流雨水幹線 工事の地域還元等は

**質問** 多摩川上流雨水幹線  
工事は、平成十二年度までに  
完成の工事で、その予算は百  
九十七億円とのことであった  
が、先日の説明会では工期が  
平成十五年まで延び、工事  
費も三百八十億円と二倍近く  
になるとのことで、我々とし  
ても大変驚いている。これだ  
けの額の誤算が今までにあつ  
たのか、この誤算のもとは一  
体何だったのか、工事の延長  
や事業費の増額を考えるとな  
かなか厳しいものがあると思  
う。

**市長** 多摩川上流雨水幹線  
工事については、地域への還  
元として環境整備をすること  
となり、既に永田地域の地権  
者の方々から同意をいただ  
き、去る二月十日に福生市土  
地開発公社によって自由広場  
とすべき土地の先行取得を行  
い、はげ口となる柳山公園の  
一部、その他の要望について  
も今後整備をしていくことと  
なっている。

この工事を行うことにより  
地域に迷惑がかかっているこ  
とは事実であり、今まで永田  
や長沢地区で地域還元として  
の環境整備を行ってきたが、  
設局からの連絡では、現在も  
JRとの協議が思うように進  
展していないとのことであつ  
た。歩行者の交通安全上から  
も非常に危険な状況であり、  
住民からの強い要望があるこ  
とも承知している。今後、  
JRとの協議については市で  
も側面的協力ではなく、都と  
も同行し、一日も早く協定が  
結ばれ、住民からの強い要望  
である拡幅整備の早期実現に  
向け強く要望を行っていく。

京都下水道局流域下水道本部  
長あてに井戸の調査を実施す  
るよう要望した結果、東京都  
下水道局では平成八年三月に  
調査を行ったところであ  
る。また、この工事により井  
戸に異常が生じた場合は、実  
態を調査し、対応として上下  
水道による代替施設の設置、  
いしたい。

### 介護保険事業計画など 福祉行政について

原 敏子 議員

**質問** ①来年四月より実施  
の介護保険制度には保険料、  
利用料の負担、介護基盤整備  
の遅れ、要介護認定の問題な  
どの不安があるが、現行の福  
祉の水準を守ることを大前提  
に事業が進められると思う。  
そのためには、介護保険事業  
計画の策定と老人保健福祉計  
画、地域福祉計画の見直し  
が大事であると思うが、推進委  
員会を中心に行われている見  
直し作業の現況を伺いたい。

**市長** ①一回目は委嘱状の  
交付、正副会長の互選、諮問  
を行い、二回目は介護保険の  
共通認識のための説明、高齢  
者実態調査の結果報告を行  
い、三回目は要介護高齢者の  
推計及び介護サービス需要量  
の想定について説明を行っ  
た。本年十月ごろまでには、  
介護保険事業計画の中間報告  
ができるかと考えている。  
②現在までに二十二戸を整  
備し、現在建設中の都営熊川  
第三団地内の三十八戸をあわ  
せて六十戸となり、目標の半  
分である。今後とも公団、公  
社、都営住宅、さらには民間  
の借上高齢者住宅の確保も含  
めたい。

③れんげ園の園生  
は毎日弁当持参であ  
るが、父母、園生か  
らは週に一度の給食  
サービスの実施を願  
っている。この給食  
サービスを高齢者給  
食サービスの中で実  
施した場合、週一回  
で年間三十三万六千  
円で、市財政への負  
担も少なく福祉サ  
ビスは充実すると思



▲市では近づく介護保険実施に向け、地域福祉計画等の見直しを進めている

めて進めていかなければならぬが、多大の財源負担を必要とするので、国・都に補助制度の要望を行い、財源確保に努めたい。

③福祉センターでの食事サービスのキャパシティー(容量・能力)の問題があるので、社会福祉協議会とも協議し、

本年一月のれんげ園運営委員会の意見を聞くなどして検討しているが、結論を得るまでには至っていないので、引き続き検討したい。

### 不登校児童・生徒への対策をどうして

質問 ①次世紀を担う子供

たちによりよい教育をと願う気持ちは、教育委員会や教員、父母のみならずの思いは一致しているはずだが、不登校児童・生徒数は減少していないのが現実であるが、この現状は、またこの原因を究明し、あわせて今後の姿勢と対応についての教育長の見解を伺いたい。

②中学校給食問題は二十四年も前から市民の根強い願いであり、当時出された請願は全議員の賛成で可決され、教育委員会が諮問した中学校給食問題懇談会の答申は中学校給食の実施とされている。しかし、いまだ実施されないことに教育委員会の姿勢が問われている。教育長の見解を

伺いたい。

教育長 ①本年度二学期末で学校嫌いを理由とする小学校の三十日以上欠席者は二十八名、うち五十日以上は十二名。中学校の三十日以上欠席者は五十三名、うち五十日以上は四十四名である。

予防策としては、居場所のある学級の雰囲気づくりと、分かる授業、達成感の得られる授業を創造していくことである。その重点課題として、授業研究を中心とする研修拡大に力を注ぎます。また打開策としては、学校と家庭との信頼関係を基盤とした密接な連絡等を通じ、粘り強く立ち直るまで指導していくということであると考えている。またこれまで実施してきた市の派遣相談員、スクールカウンセラーの可能な限りの充実を図ってまいりたい。

②これからの学校給食のあり方としては、教育的価値の高い明るく楽しい和やかな、ゆとりのある学校給食を実施すべきであると考えているが、現状では教育時程や施設整備面において困難であり、理想として給食をすぐには実施できない状況である。しかし、弁当を持参しない生徒がいることを十分考慮し、当面そのような生徒を対象にしたデリバリーランチを平成八年九月から実施したところであり御理解願いたい。

への進学をあきらめる高校生もここ数年にわかにふえており、国民金融公庫の調査によると、国の教育ローン利用世帯のうち高校生以上の就学生を持つ家庭の年間教育費は平均年収の二十四％を占めている状況である。

若者たちが経済的理由から勉学を断念するような悲劇を生まないよう、また親も安心して子供を高校、大学へ送り出せるよう、福生市でも平成八年度から入学資金融資制度を実施しているが、現在、専門学校、大学入学時に必要な金額は百二十万円から百五十万円程度はかかると言われている中で、この制度の利用状況と融資限度額のアップについて伺いたい。

また、斡旋要件として償還期間が三年以内となっているが、卒業後に返還できるような枠の拡大の考えや、申し込み資格の所得制限が七百五十万円以下となっているものを圧倒的多数の給与所得者に対しては収入総額での概算表示が親切だと思いませんか。さらに同種の資金を受けないことが条件となっているが、公的資金などの具体的表現や、金融関係の教育ローンは除く

どの表現はできないか。また、申し込み期間は十一月二日から二月二十六日となっているが、進路変更の考慮も入れて三月中旬まで延長できないか。

また、所得制限オーバーの方にも利子三％でできるような配慮し、制度の新設についての考えを伺いたい。

教育長 当市の入学資金融資制度については、目的を大学、高等学校等に入学する者の保護者に対し、入学時に必要な資金について、市長が金融機関に対し融資を斡旋することにより当該保護者の経済的負担を軽減し、もって教育の機会均等を図ろうとするもので、平成八年度第三回定例会で決定していただき、同年十月から施行したもので、利用状況としては、平成八年度は制度創設間もないということ

や他市の制度の十分な調査を実施した中では、本市の融資限度額の八十万円は最上位であり、所得制限額七百五十万円も極めて緩やかで有利な制度となっている。償還期間の延長については、昨年十月に実施した利用者に対するアンケート調査の結果では、回答者の半数以上が据置期間を含めた償還回数について「適当である」と回答してお

り、現状では制度の新設、拡大の問題についてはしばらく時間をいただき、様子を見てまいりたいと考えている。本制度は創設三年目であり、この間議会からもいろいろと御意見、御質問等をいただいておりますが、まず当面は本制度の定着を図るべくPRの充実等に努めてまいりたいと考えている。

### 新ガイドライン関連法案

反対の表明を

松山 清 議員

質問 新ガイドライン法案

は日本を戦争に巻き込むとの強い批判に対して、政府は後方支援だから戦争参加ではないと言っているが、国際的な軍事の世界では重要な軍事行動の一部と見なされている。まさにこの法案は日本国民の平和と安全を根底から脅かし、戦争に巻き込むものとして反対の声が急速に広がっている中で、地方公共団体等の米軍への協力に対して政府から想定される十項目の協力が示され、地方公共団体の管理

うが、市長の考えを伺いたい。

市長 政府は新ガイドラインの具体化に向けて、昨年四月の国会に「周辺事態に際して我が国の平和及び安全を確保するための措置に関する法律(案)」を提案した。この法案には後方支援についての地方公共団体の協力要請規定を設けており、住民生活や地域経済活動などに少なからぬ影響を及ぼす可能性が予想されることから、昨年、都と五市一町連絡協議会、全国基地関係協議会、渉外知事会にお

り、現状では制度の新設、拡大の問題についてはしばらく時間をいただき、様子を見てまいりたいと考えている。本制度は創設三年目であり、この間議会からもいろいろと御意見、御質問等をいただいておりますが、まず当面は本制度の定着を図るべくPRの充実等に努めてまいりたいと考えている。

に要望したところである。この件に関しては市民生活に影響があつてはならないものと考えているが、現在国会で審議中であり、今後の動向について連絡協議会とも連携を取りながら注意深く見守っていきたいと考えている。

### 多摩川上流雨水幹線事業について

幹線事業について

質問 多摩川上流雨水幹線

事業については、流域下水道本部が事業費を当初の百九十七億円から約二倍の三百八十億円に引き上げ、関係市に負担金の増額を求めていることが明らかになった。事業認可をとり、国や都の補助金、関係市の負担金を決めて始まったこの事業費が十分な説明もなしに倍額になるといふことはだれが聞いても理解されないのは当然である。ましてやこの事業を請け負っているのは大手ゼネコンで、公共事業がゼネコンに食い物にされているとの印象はだれもが持っているものである。このように工事費が二倍になるのは極めてズサンな計画ではなかったのか、またこの件で過日の都議会における日本共産党都議の質問に対して下水道局長の答

いて適時的確な情報の提供と意見聴取などにより実情を把握し、地方公共団体の意向が十分図られるよう緊急要望を行うとともに、機会あることに要望したところである。

この件に関しては市民生活に影響があつてはならないものと考えているが、現在国会で審議中であり、今後の動向について連絡協議会とも連携を取りながら注意深く見守っていきたいと考えている。

弁は関係市と協議を重ね基本的には了解を得ていると答弁していたが、市当局はいつそのような了解を東京都に出したのか伺いたい。

市長 昨年、東京都下水道局流域下水道本部から事業計画の変更と負担金の増額についての説明があり、事業期間が三年伸び、平成十五年度とし、全体事業費は三百八十億円が示され、福生市での負担金は約二億六千六百万円から五億一千万円となり、二億四千五百万円の増額が見込まれている。昨今の財政事情を勘案して簡単に処理することはできないと苦慮しており、昨

本事業の総事業費が三百八十億円に増額されることについては、今日の財政状況では極めて難しい財政運営を強いられることになるので、そのような状況を御配慮いただき、事業の執行にあたっては三市の負担ができるだけ軽減されるよう最大限の努力をしていただくよう流域下水道本部に働きかけを行うべくその協議を重ねている。今後の状況についても議会に御相談して対応させていただきたいと考えているので、御理解いただきたい。

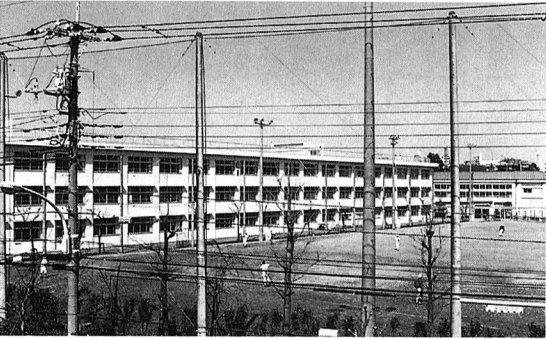
### 入学資金融資制度の融資限度額増額を

沼崎満子 議員

質問 長引く不況による失業や賃金カットで家計の収入が伸び悩む中、教育費の負担

は年々上昇しており、家庭の経済的理由から学費滞納で退学を余儀なくされたり、大学

への進学をあきらめる高校生もここ数年にわかにふえており、国民金融公庫の調査によると、国の教育ローン利用世帯のうち高校生以上の就学生を持つ家庭の年間教育費は平均年収の二十四％を占めている状況である。



▲年々増す教育費に対して入学資金融資制度の融資限度額増額が求められている

その内容が理解できることが望ましいことであると考えており、来年度の広報等の原稿作成にあたっては御指摘の点も十分踏まえて対応させていただきたいと考えている。

また、融資限度額の増額、所得制限超過者に対する制度の新設、拡大の考えについては、本制度の創設にあたり東京都



▲新ガイドライン法案は、戦争に巻き込むとの批判もある(在日米軍横田基地)

創設にあたり東京都

次定例会は6月9日(水)からの予定です。本会議の傍聴はどなたでもできます。くわしくは、議会事務局にお問合わせ下さい。

551-1511 (内線 512)

# 委員会の審査から

### 今定例会の常任委員会

では、付託された議案と陳情及び継続となっていた請願・陳情の審査が、三月十五日、十六日、十七日の三日間、厚生・建設・総務の順で行われました。また、議会運営委員会も、今定例会に五回行われました。ここでは、各委員会から報告された主な議案の審査概要をまとめました。

## 厚生委員会

現地視察の後、付託された議案七件と、請願一件、陳情八件の審査をしました。

### ◎平成十一年度福生市国民健康保険特別会計予算

予算総額は、三十五億五千万七千円、委員の質疑に対する答弁として、保険証の発行状況は、全体で一万八千八百七十七世帯、そのうち短期保険証の方が九十八世帯〇・九%である。一般会計からの繰入金は、十年度の見込みで三億九千九百九十四万四千円、十一年度が五億一千万円であり、独立会計を取っている国民健康保険の会計上、本来財源補てんがないのが普通だが、従来からこういったことで財源補てんせざるを得ないとの答弁があり、原案どおり可決されました。

### ◎平成十一年度福生市老人保健医療特別会計予算

予算総額は、三十一億七千

五百四十二万二千円、委員の質疑に対する答弁として、総医療費は三十四億八百六十四万六千円、一人当たり六十九万七千三百五十円であり、患者一部負担金の総額が二億五千七百三十五万三千円、受診件数は十二万六千五百二十八件、受診率が二百五十七%である。十年度では、一部負担金の総医療費に対する割合は五・五七%、十一年度では七・五五%を見込んでいます。

また、十一年度四月から外来一回五百円から五百三十円、入院一日千円が千二百円となるとの答弁があり採決の結果、賛成多数で可決されました。

## 建設委員会

現地視察の後、付託された議案六件と陳情三件の審査をしました。

### ◎平成十一年度福生市下水道事業会計予算

予算総額は、三億七千五百六十四万四千円、委員の質疑に対する答弁として、水洗化普及率は九十九・二%となっている。未水洗家は十一年二月末現在で三百九十五棟あり、持ち家が百二十八棟、貸し家が二百六十七棟となっている。新規事業の雨水ます浸透施設設置事業は、家庭の敷地内になる



▲現地の公園を視察する建設委員会委員(3月16日の委員会で)

兆一千三百七十五億円であり、六千四百六十四億円の資金不足となっているとの答弁があり、原案どおり可決されました。

## 総務委員会

現地視察の後、付託された議案五件と陳情七件の審査をしました。

### ◎平成十一年度福生市一般会計補正予算(第五号)

委員の質疑に対する答弁として、庁舎建設基金積立金について、どこを目標にするかという明快な方針を持ってはいるが、最低限五十%以上なければ難しいと思う。また、当市の財政構造からいくと七割から八割が理想的な方向かと思っている。いずれ庁舎の建設問題については、対応方をお願いする時期がくるのではないかと考えている。

また、東京都の水道会計の状況は、昭和四十八年度の水道一元化以降平成九年度までの二十四年間の累計財政収支の額は、収入総額が一兆四千九百一十一億円、支出総額が二

兆一千三百七十五億円であり、六千四百六十四億円の資金不足となっているとの答弁があり、原案どおり可決されました。

たいと考えている。

収益事業配分金は、当初予算で五千万円を計上したが、景気低迷により入場者数の減と、一人当たりの購買力が下がっているという状況であり、管理者より今年において配分金なしで予算措置を願いたいとの報告があり減額補正となっているとの答弁がありました。原案どおり可決されました。

また、扶養手当の減額を行う六百八十九万円の減、住居手当についても減額し七百四十一万三千円の減となる。これらを相殺すると職員一人当たりの平均では、年額一万一千九百円程度の増になるとの答弁があり、原案どおり可決されました。

### ◎福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

一般職の職員の扶養手当及び住居手当の額並びに調整手当の支給率等を改正する条例です。委員の質疑に対する答弁として、十一年度の一般会計予算で計算すると、調整手当が十%から十一%となることに伴い、一千九百三十四万四千

円が増となる。また、扶養手当の減額を行う六百八十九万円の減、住居手当についても減額し七百四十一万三千円の減となる。これらを相殺すると職員一人当たりの平均では、年額一万一千九百円程度の増になるとの答弁があり、原案どおり可決されました。

## 議会運営委員会

議会運営委員会は、本会議の前及び会期中に開催され、議会の日程、議案や陳情等の審査の順序、委員会への付託、即決の決定のほか、福生市議会の規則を横書きに改める規則を議員提案として提出することに決めました。

また、定例会終了後に発行

## 特別委員会活動から

### 横田基地対策特別委員会

平成十一年度の防衛補助事業の実施状況や平成十一年度防衛補助事業等を協議しました。

### ◎平成十一年度防衛補助事業の実施状況

周辺対策事業として、二箇所の公園整備、消防ポンプ自動車設置(第一分団)、一小・三小・一中・三中・中央図書館の防音機能復旧事業等、調整交付金事業として、市道新設事業、福生地域体育館駐車場新設事業の報告がありました。

### ◎平成十一年度防衛補助事業実施予定箇所

下の川緑地(仮称)新設

## 請願・陳情

今定例会の各委員会で審査された結果、採択となった請願・陳情とその理由は次のとおりです。

### 採択

◆請願第十一号 「環境ホルモン(外因性内分泌

かく乱化学物質)削減に向けた施策の実施等についての請願書

《理由》生きる上で重要な課題なので、採択とする。

◆陳情第十一号 地方分権の推進、社会保険行政の「法定受託事務化」に関する陳情書

《理由》住民サービスの低下がないように採択とする。

## 編集後記

若葉の季節になりました。わたしたち平成七年選出の議員の任期もいよいよ四月三十日までになりました。市民の皆様には四年間のご愛読、まことにありがとうございます。

読みやすく、親しめる紙面づくりに委員一同、努力をいたしました。いががだつたでしょうか。

一般質問の議員の名前を掲載するなど、さまざまに改革を目指しました。市民の皆様からは、ご意見など、たくさん寄せられました。

この三月議会の議会だよりが市民の皆さんのお手元に届く頃には、新しい議員が決まっています。今後は、さらなる議会改革、開かれた、わかりやすい議会運営と、議会だよりの発行を願ひまして、任期最後の編集後記といたします。

議会運営委員長